



2023年から毎年開催してきた関東大震災朝鮮人・中国人虐殺犠牲者キリスト者追悼集会を通して、私たちは、あの虐殺(ジェノサイド)がなぜ起こったのかを学び、教会のあり方を問い直してきました。今年は、関東大震災下で起きた中国人虐殺の歴史に向き合います。当時、多くの中国人労働者が虐殺され、また中国人留学生・王希天も軍によって命を奪われました。しかし、その歴史はいまなお十分に知られていないといえせん。

排外主義とナショナリズムが急速に強まりつつある今、過去の虐殺を「過ぎ去った出来事」にすることはできません。誰が排除され、その声がかき消されてきたのか。歴史に向き合い、私たち自身の生き方と教会のあり方を問い直しながら、犠牲となった方々を覚え、共に追悼の祈りをささげましょう。

日時: **2026年8月30日** 日 15:00~17:00

会場: 富坂キリスト教センター + オンライン

〒112-0002 東京都文京区小石川2-9-4

講演:

ワン・シーティエン

「王希天惨殺事件をめぐって」

リン・ボーヤオ

林伯耀 さん

関東大震災下で虐殺された中国人労働者を追悼する会共同代表。

1939年京都丹波で生まれた在日中国人二世。

元南京大虐殺60力年全国連絡会共同代表。

キム・ビョンホ

メッセージ: 金柄鎬 さん 在日大韓基督教会牧師



参加費無料・申込不要(会場での献金があります)



オンライン参加の方は、グーグルフォームでお申し込みください。

<https://forms.gle/Apkhsd1UZp1gebD26>

申込者にオンライン情報をお送りいたします。締め切り8月29日。

メールでご連絡の際は、タイトル名「追悼祈禱会オンライン申し込み」で下記お問い合わせアドレスまで。

お問い合わせ: general@ncc-j.org 日本キリスト教協議会(NCC)

呼びかけ: NCC東アジアの和解と平和委員会

賛同:

NCC平和・核問題委員会、「札幌で憲法を読む103人の集い」実行委員会、キリスト友会、NCC教育部、常紋トンネル追悼式実行委員会、日本キリスト教会、日本バプテスト連盟日韓・在日連帯特別委員会、九条の会・浦安、富坂キリスト教センター、全国キリスト教学校人権教育研究協議会、在日韓国人問題研究所(RAIK)、日本カトリックいのち・平和・人権委員会、在日大韓基督教会社会委員会、(公財)日本キリスト教婦人矯風会、マイノリティ宣教センター運営委員会、NCC在日外国人の人権委員会、日韓和解と平和プラットフォーム、NCC靖国神社問題委員会、日本聖公会正義と平和委員会、日本聖公会日韓協働委員会、平和を実現するキリスト者ネット、外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教協議会 (2026年8月4日現在)

関東大震災朝鮮人・中国人虐殺犠牲者103年キリスト者追悼祈禱会

わたしたちは
もう
忘れない